



式根島学園

式根島小中一貫教育アンケート集計結果

(児童・生徒、保護者・教員) R4.1.28

○目的 現状の実態把握と式根島小中一貫教育の成果を検証することにより、今後の式根島一貫教育の一層の充実を図る。

○実施 令和4年1月13日～19日

○対象 式根島小学校3年生～6年生の全児童 対象者19名
式根島中学校1年生～3年生の全生徒 対象者13名
式根島保育園・小学校・中学校の全保護者 対象者29名
式根島小・中学校教員 対象者20名

○内容 児童・生徒（設問16）

学校生活・地域参加・小中合同の活動・ICTの活用・一体型校舎について

保護者（設問21）

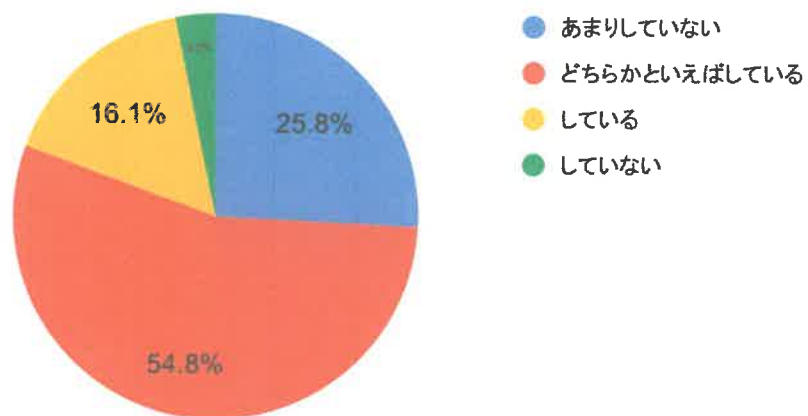
小中一貫教育の考え方・指導体制・期待度・ICTの活用・一体型校舎について

令和3年度 式根島学園小中一貫教育に関するアンケート集計結果【児童・生徒】

1. 学校生活について

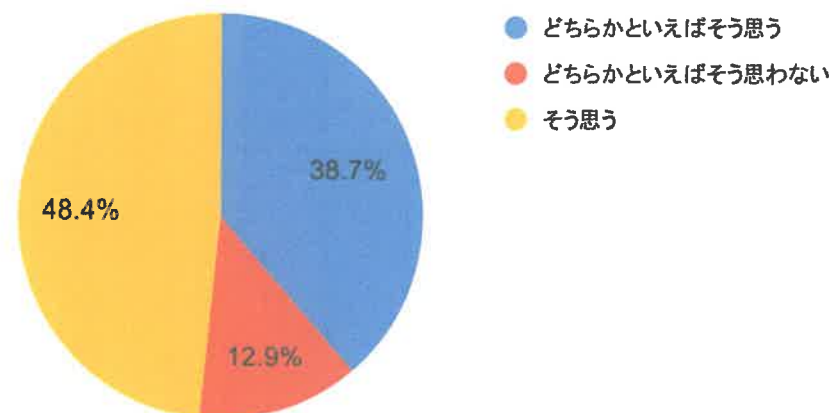
B-1 家庭学習を計画的にやっていますか。

31件の回答



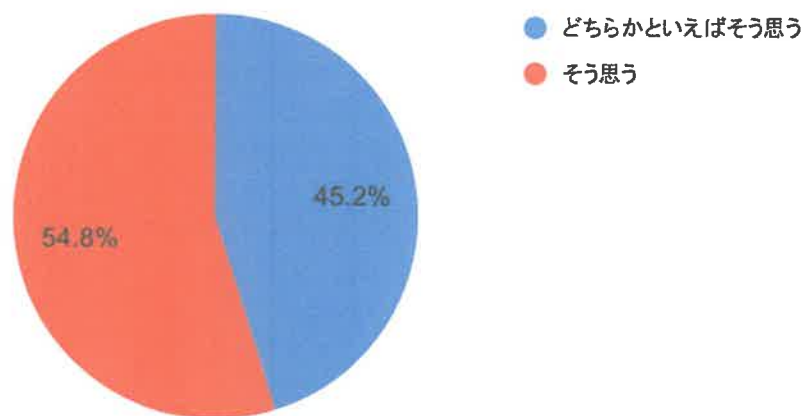
B-2 学校に行くのは楽しいですか。

31件の回答



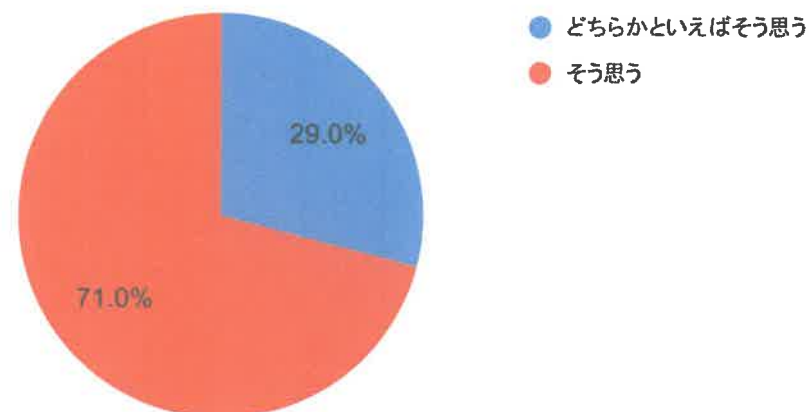
B-3 学校の授業は理解できていますか。

31件の回答



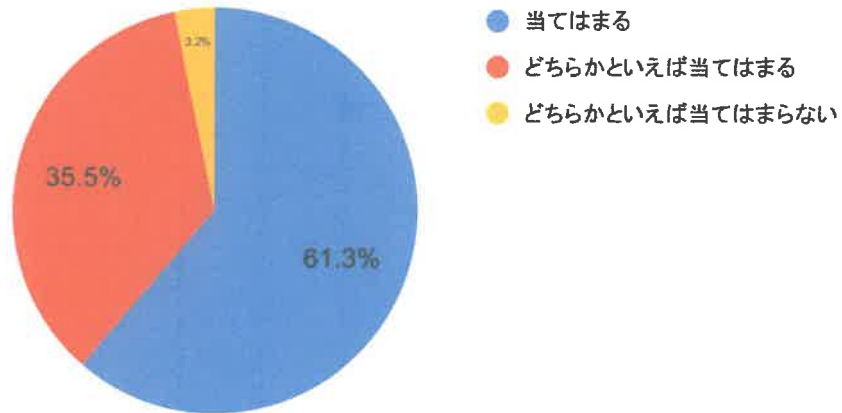
B-4 学校で友達と会うのは楽しいと思いますか。

31件の回答



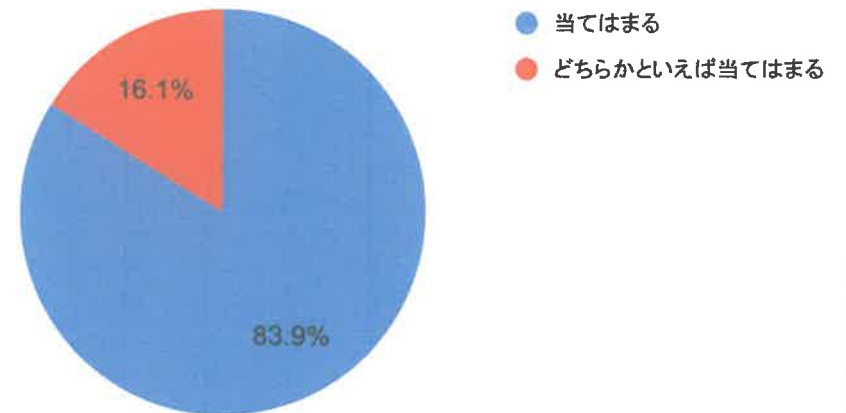
B-5 学校の決まりを守っていますか。

31件の回答



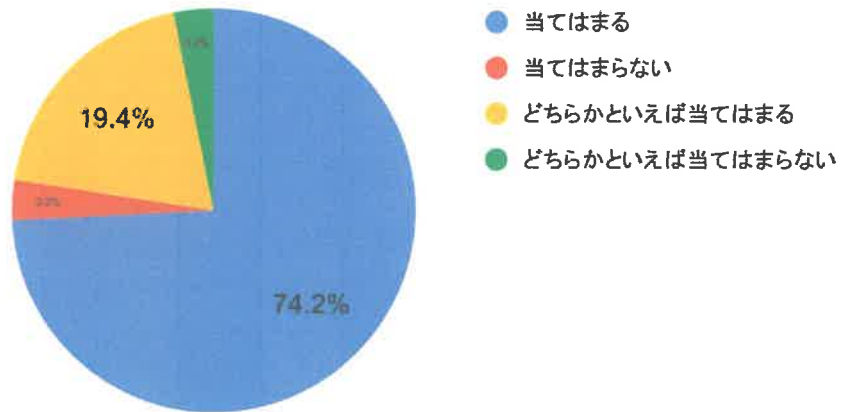
B-6 友だちとの約束を守っていますか。

31件の回答



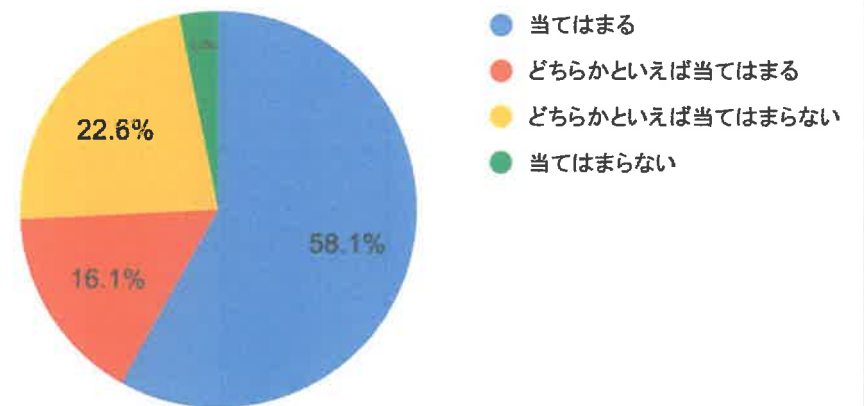
B-7 自分の考えや気持ちを理解してくれる人はいますか。

31件の回答



B-8 将来の夢や目標を持っていますか。

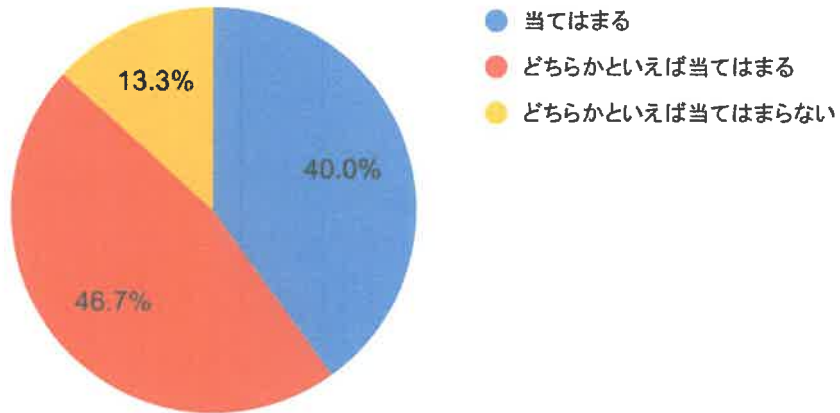
31件の回答



2. 地域との関わりについて

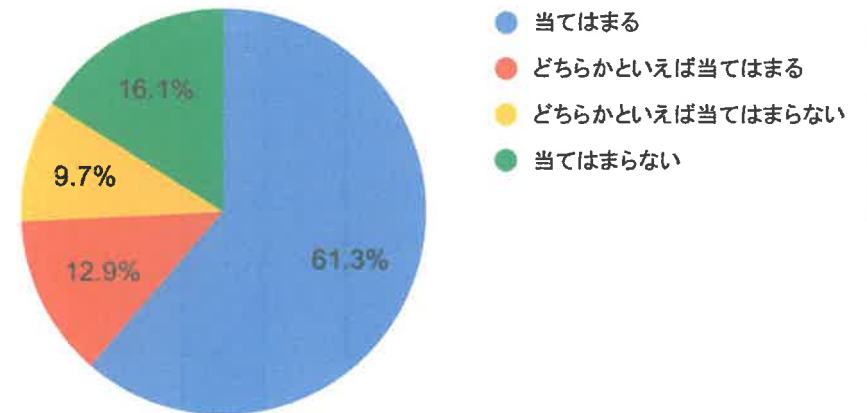
B-9 地域の行事に参加していますか。

30件の回答



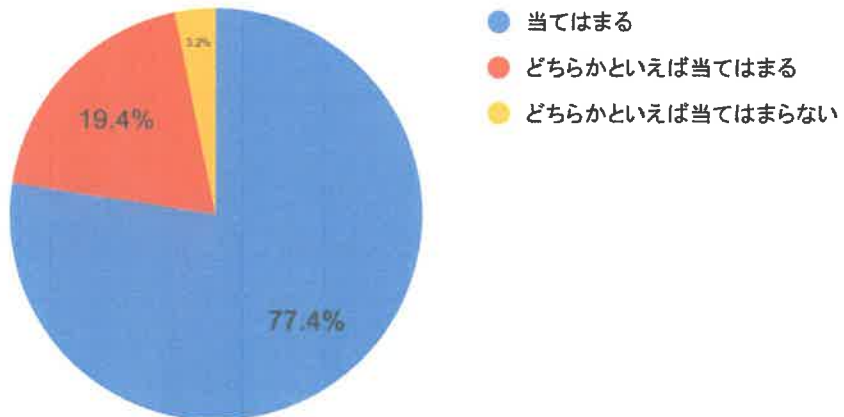
B-10 ボランティア活動に参加したことはありますか。

31件の回答



B-11 地域の人に会ったときにあいさつをしていますか。

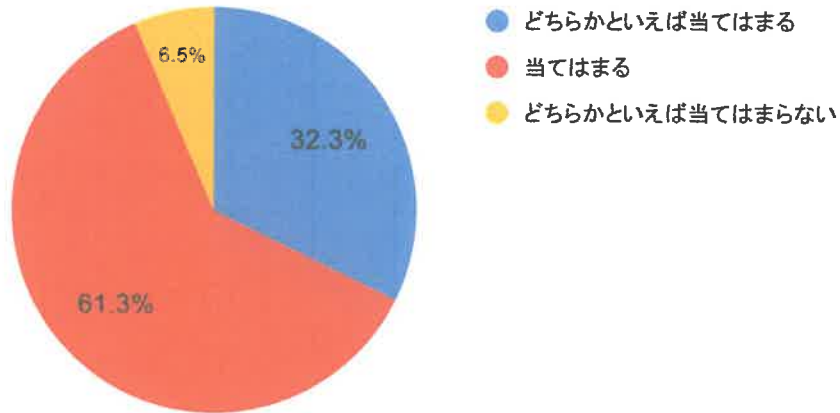
31件の回答



3. 小中合同活動について

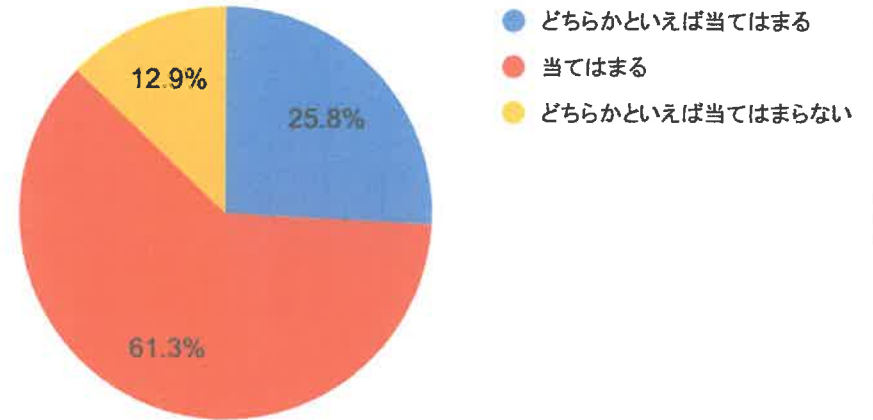
B-12 小中合同の行事は楽しいですか。

31件の回答



B-13 今後も小中合同の活動を増やしていきたいですか。

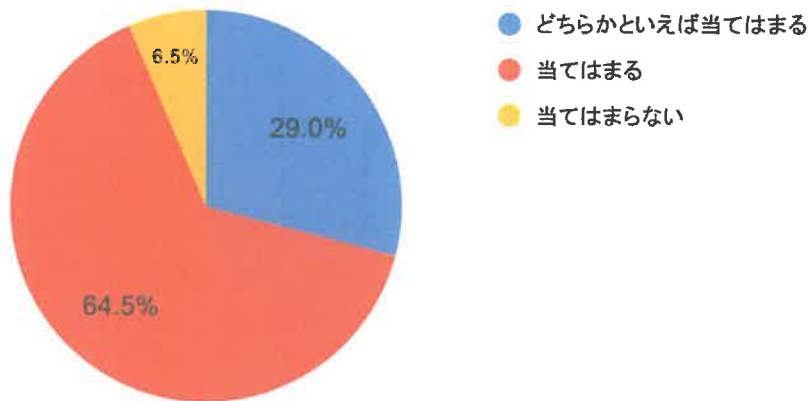
31件の回答



4. ICTの活用について

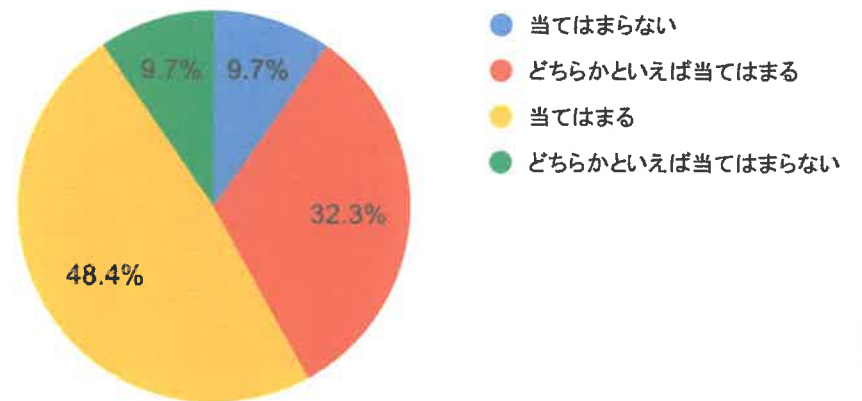
B-14 学校で配られている端末(Chromebook)を普段から活用していますか。

31件の回答



B-15 学校で配られている端末(Chromebook)に自分で学習できるAIドリルがあれば活用しますか。

31件の回答



5. 一体型校舎について

B-16 小中学校の校舎が一つになるときに、「こんな教室があるといいな」「こんなことができたらいいな」などのアイデアがあれば教えてください。

例)みんなで一緒に給食を食べる教室

25件の回答

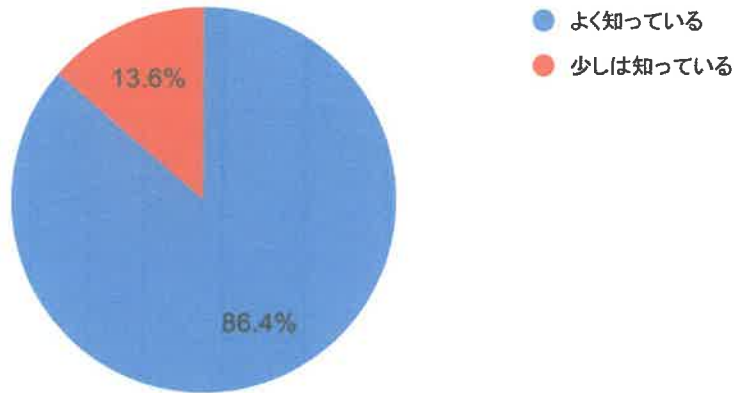
- ・中学生が、先生の代わりになって、小学生に授業を教える。
- ・自主学習ができる教室
- ・中学生と、合同でなにかやりたいです。
- ・なし
- ・定期的に小中合同で何かができるといいと思う
- ・みんなで集まる事ができる小さな広場的なもの(とまり木みたいな教室)
- ・どの学年も入れる机とかが置いてあるスペース(休み時間交流できる)ところ)
- ・各教室で冷暖房が確立されるといいと思う。(4年生の教室は冷房使ってるけど、8年生の教室でも暖房が使える。)
- ・各委員会が使える部屋
- ・小中合同での理科の実験
- ・小学生と中学生との区別をつける。(受験生もいるので)
- ・自習室
- ・みんなで勉強できる教室
- ・みんなで遊べる部屋
- ・いろいろな相談ができる部屋
- ・PC大会
- ・月に2回天体観測ができる教室(プラネタリウム)、校庭の拡張、全員で同じことを学ぶ教室、図書館、実験教室
- ・室内プール、図書館、理科室、家庭科室の分裂、特別支援教室、ちゃんとした相談室
- ・室内で体を動かせる教室
- ・楽しく話せたりする所
- ・みんなと遊べる教室
- ・特に思いつかない
- ・お誕生日会などができる広い教室
- ・みんなで遊べる教室
- ・お話ができる給食

令和3年度 式根島学園小中一貫教育に関するアンケート集計結果【保護者・教員】

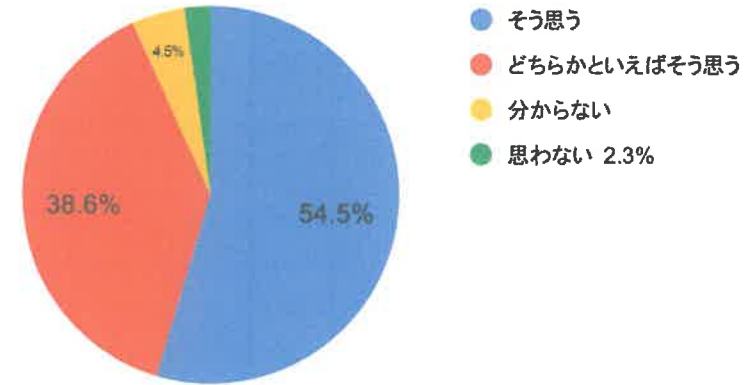
1. 義務教育9年間を一貫する「小中一貫教育」の考え方について

A-1 現在、式根島学園では、中学校の教員が小学校で授業をするなどの小中一貫教育に向けた授業を行っていることを知っていますか。(音楽・図工・家庭)

44件の回答

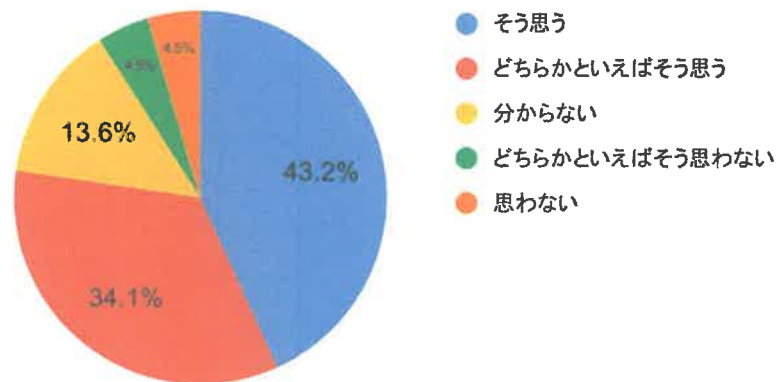


A-2 小学校と中学校で途切れる指導を教員相互の交流や連携を行うことで、連続性をもった指導にする必要があると思いますか。44件の回答



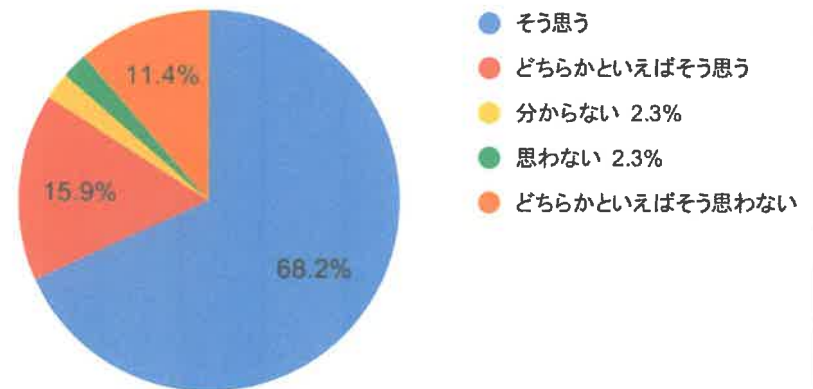
A-3 小学校と中学校を通じて、9年間の一貫したカリキュラム(指導計画)で指導することにより、子供たちの学力の定着や向上が図られると思いますか。

44件の回答



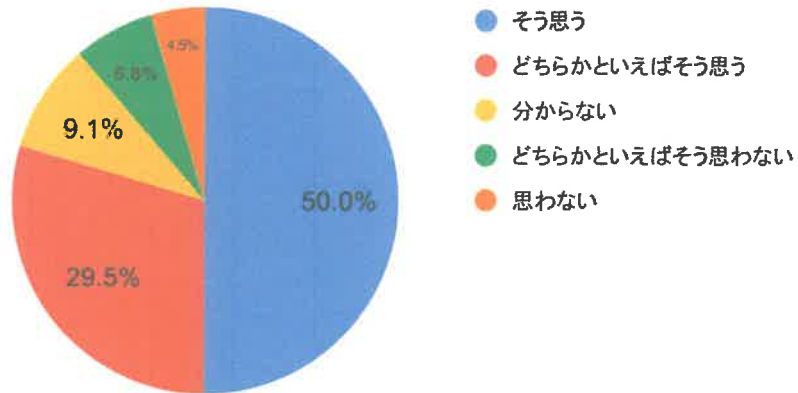
A-4 小学生と中学生が、学校生活の中で協力し合ったり、交流を深めたりすることは、お互いの成長にとって役立つと思いますか。(小学生にとって・中学生にとって)

44件の回答



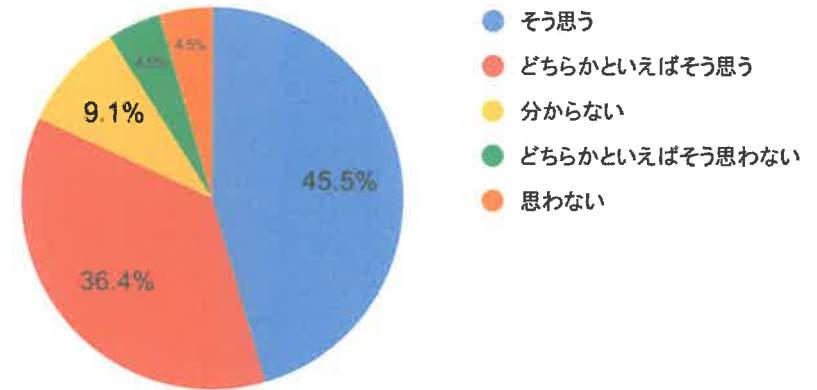
A-5 児童や生徒、小学校、中学校の双方教員が同じ場所で学習することで、より円滑に子供たちの学力の向上や共同生活に慣れ親しむなどの成長に効果があると思いますか。

44件の回答



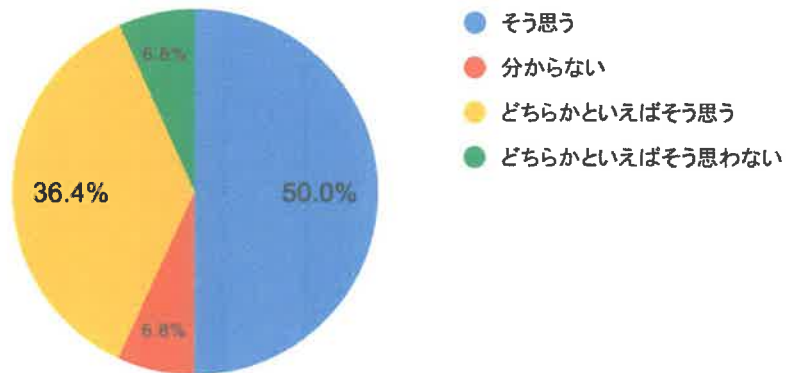
A-6 小学校教員と中学校教員が連携しながら指導することは学力の定着や向上につながると思いますか。

44件の回答



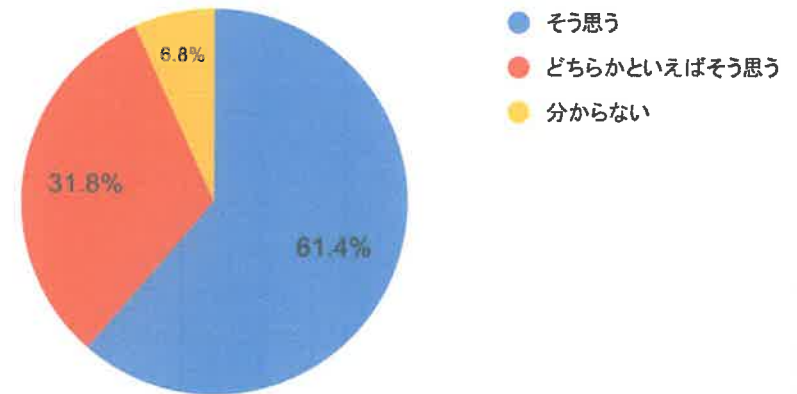
A-7 一人一人の理解の度合いによるグループを編成し、理解が不十分な子供には復習的な内容に重点をおき、理解が十分な子供には応用・発展的な内容について学習することは、学力の定着や向上が図られると思いますか。

44件の回答

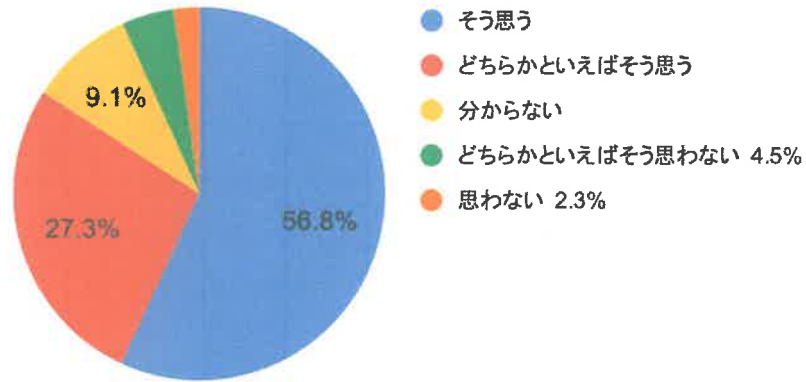


A-8 新島村の自然や文化、伝統など身近な題材をテーマに取り上げ、子供たちが9年間を通して学習することは、地域社会の一員としての自覚や愛着心が育つと思いますか。

44件の回答

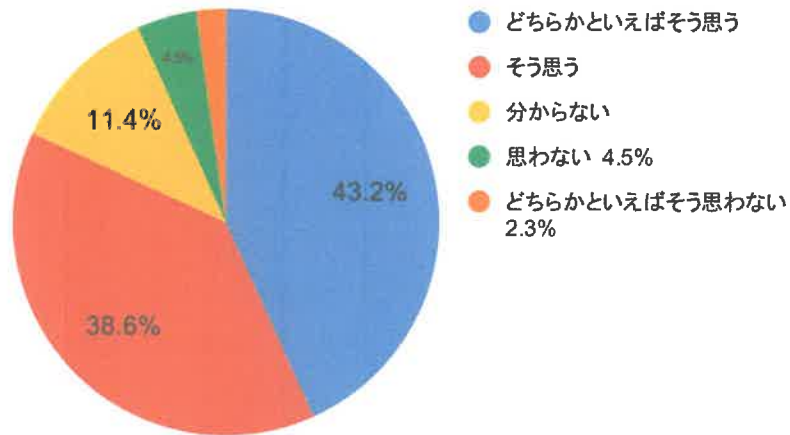


A-9 小中の児童生徒が運動会などの行事や清掃活動や給食準備など共に日常生活を送ることで、人と人の関係づくりの力を養う効果があると思いますか。44件の回答

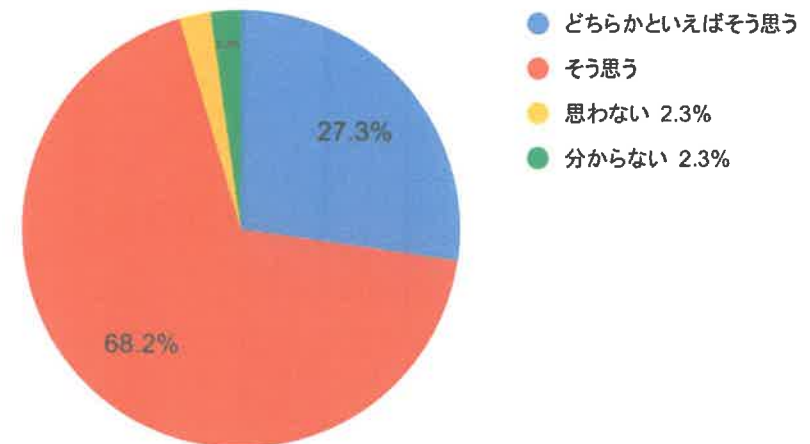


2. 小中一貫教育の指導体制について

A-10 小学校高学年の学習において、教科によって専門的な指導ができる教科担任制を導入することは、子供たち一人一人の学習意欲や学力を高めるために有効だと思いますか。44件の回答

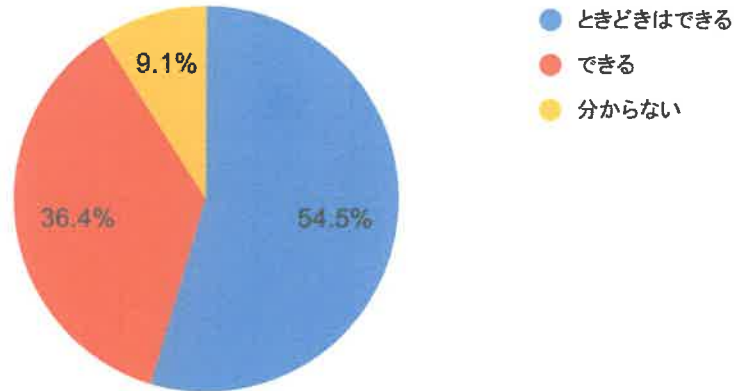


A-11 保護者や地域住民等が地域ぐるみで子供たちの教育を支えていくことは、子供たちの健全育成につながると思いますか。44件の回答

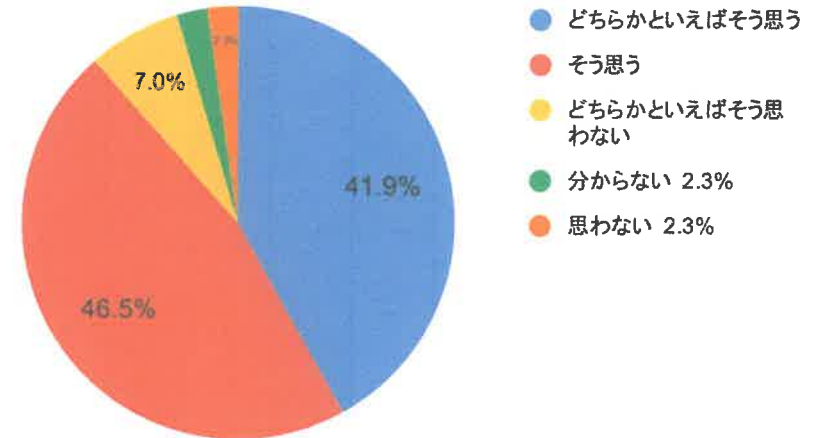


A-12 A-11について、あなたは学校行事の運営や学習・生活指導などに時間を割いて参加することはできますか。

44件の回答

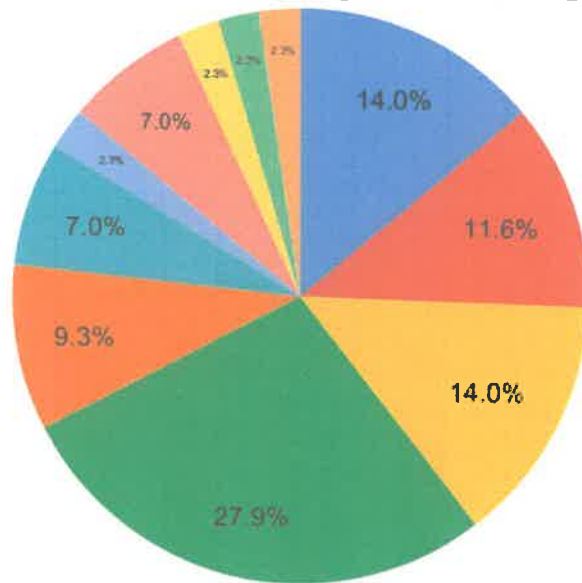


A-13 保護者や地域住民等が学校教育活動に関する情報を共有し、学校教育に積極的に関わっていくことは必要であると思いませんか。44件の回答



3. 小中一貫教育に対する期待度について

A-14 あなたは「小中一貫教育」に対してどんなことを期待しますか。43件の回答

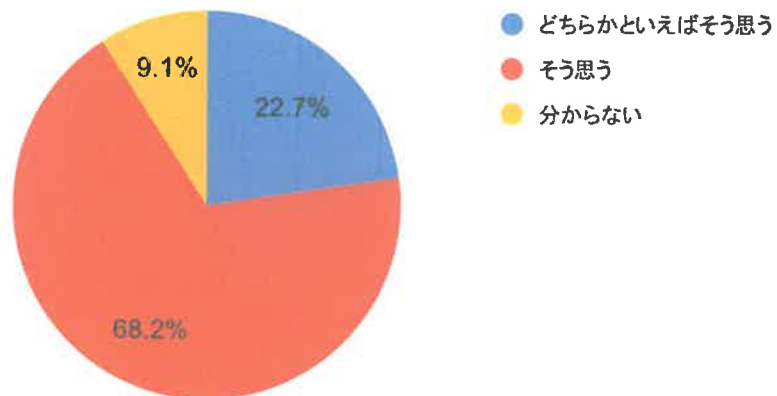


- キ 中学校になって急に指導方法が変わることが避けられる
- オ 小中学校の教員相互の情報交換・連携によって、より「分かる授業」が期待できる
- エ 教員の意識から小中学校の垣根をなくし、9年間を通した学習・生活指導ができる
- カ 小中学生の交流・ふれあいによって、協調性や社会性を身に付けることができる
- ク 小中学校双方の教員の指導が受けられ、より充実した学習が期待できる
- ア 成長段階に応じたより適切な教育が期待できる
- 一貫校に名前が変わる以前より、中学校の音楽の先生の授業であったり、小中の交流授業があったりしたので、そんなに何かが変わった感はありません。逆に、中学校の先生の負担が増えたように感じます。2.3%
- イ 一貫したきめ細やかな学習指導によって確かな学力が身に付く
- 特になし 2.3%
- ア〜ケまでのすべてに期待できると思う。2.3%
- ウ 一貫した生活指導により、いじめや不登校の問題解決に役立つ 2.3%

4. ICTの活用について

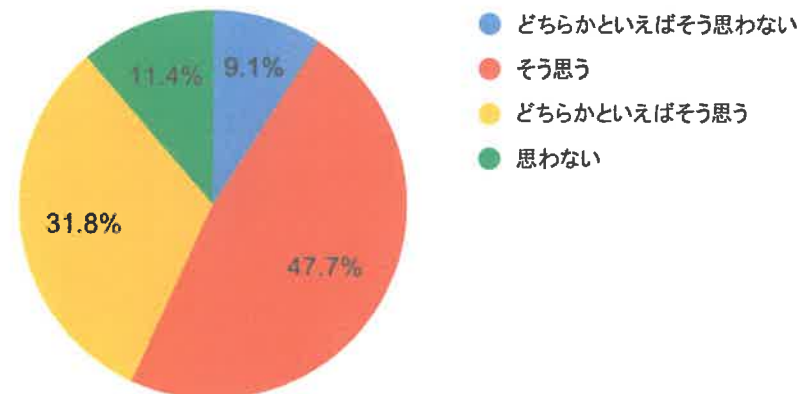
A-15 端末(Chromebook・タブレット・スマホ等)を活用した学校からのアンケート等の回答は有効だと思いますか。

44件の回答



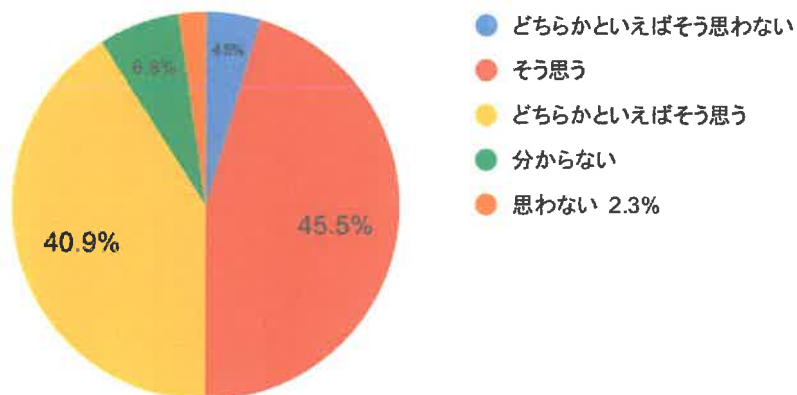
A-16 端末(Chromebook・タブレット・スマホ等)を活用した学校だより・学年通信等の配信は有効だと思いますか。

44件の回答



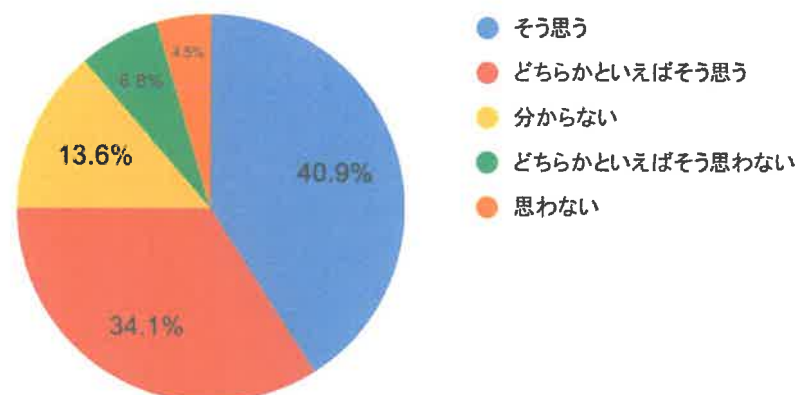
A-17 端末(Chromebook)を活用した子供たちの学習は家庭学習やオンライン授業に効果的だと思いますか。

44件の回答

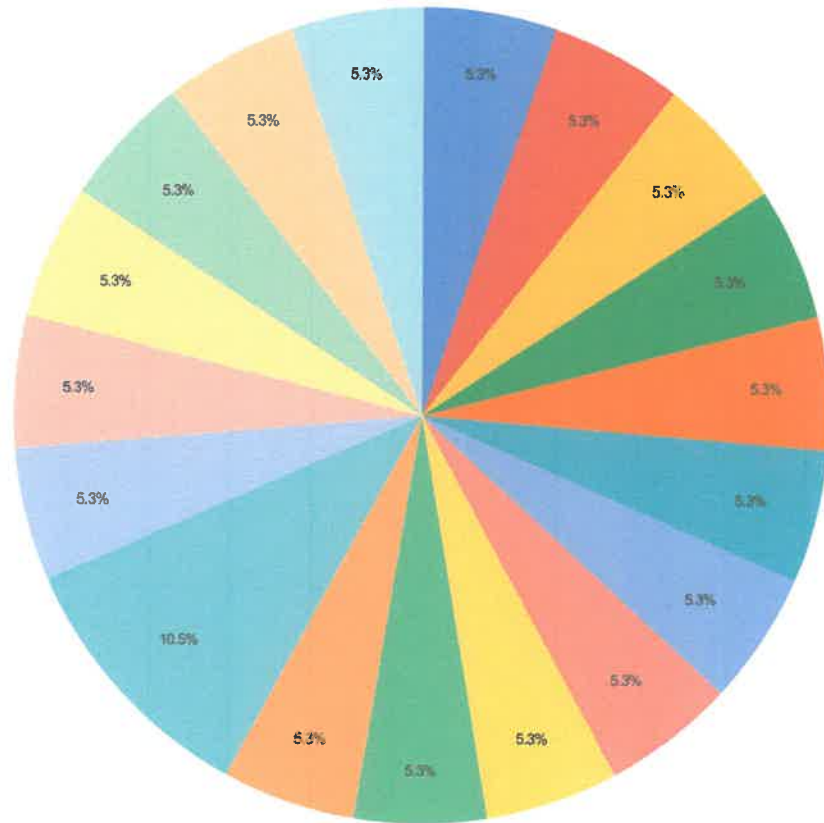


A-18 端末(Chromebook)にAIドリル等の学習支援ソフトの導入は家庭学習やオンライン授業に効果的だと思いますか。

44件の回答



A-19 端末(Chromebook)の活用としてどのようなことを望みますか。あれば書いてください。19件の回答

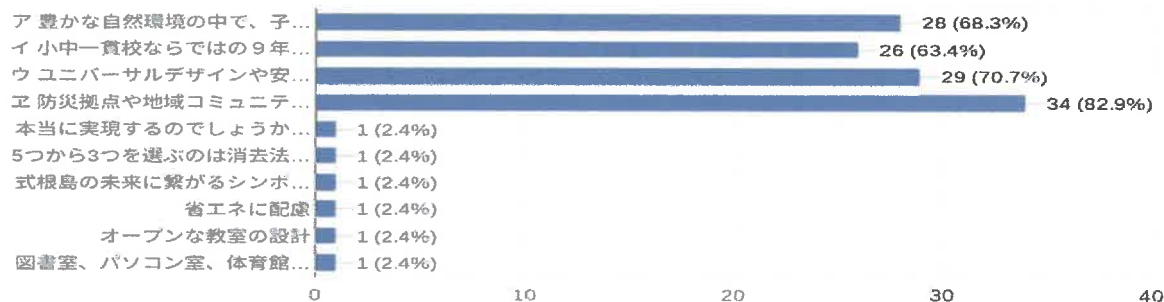


- モラル指導、使い過ぎの指導、低学年の持ち運び方法、破損した場合の補償体制が確立してから持ち帰らせるべきで、まだ不十分ため早くその体制を確立すること。
- 学級通信やお知らせの配布をタブレットで行うことで、確実に保護者に渡ると考えます。
- 基本的なパソコン操作やタイピングを覚える練習。情報検索やリテラシーについて。
- 今のところ、あまり効果を感じられないので、工夫して活用していただけたらと思います。
- Chromebookも文房具の一つのように捉え、児童が日常的に利用することができるようにし、デジタルディバイドをなくすこと。
- 資料や配布物のペーパーレス化。ファイリングの簡素化。小中高の交流や連携の強化、例えば、双方向で意見や要望の交換することで、新島高校への意識を高める。
- 今のところオンラインの時だけの使用が望ましい。(普段から画面見すぎているので目に悪い)
- 子どもは端末を扱うこと自体が楽しいことだと思うので、学習に対して意欲的になると思いますが、端末の正しい使い方を学校できちんと教えて頂きたいです。
- 文房具のひとつとしての定着
- 端末の使用状況を保護者が共有できる。
- 計画性や自分の足りない又は出来ない部分を補えるツールとして活用
- 特になし
- 職場体験やインタビューなど島外の方にリモートで学ばせてもらう事で職種など選択肢が広がると思っています。
- 端末を使用してる時、「遊び」なのか「勉強」なのか曖昧になる時がある。ネットだと調べ物をしているはずがいつい逸脱しやすい。
- 教科書の軽減
- 学級内、学校内SNSの活用
- 端末でしかできないことをするとよい。
- 今はコロナ対応でしかChromebookを使えませんが、不登校など学校へ通えない子供に使えるようにしてほしい

5. 一体型校舎について

A-20 一体型校舎に向けての基本的なコンセプトとしてどのようなことを望みますか。(3つ選択)

41件の回答



A-21 一体型校舎に向けて「こんな教室があるといいな」「こんなことができたらいいな」などのアイデアがあれば書いてください。

32件の回答

- ・将来の転用がきくような施設にしてほしい。
- ・式根島の生涯学習の場として活用できる大きな図書館、体育館以外に全校生徒が集まれるオープンスペース、複数の会議室、プロジェクターが一体となった黒板がある教室、全校生徒で食べられるランチルーム
- ・とびうお、とまり木専用の居心地のよいスペース
- ・英語教室 フリースペース(中学校だけ、小学校高学年だけみたいに気軽に集まれるスペース)
- ・モデル学校になって欲しいので、地元の素材(坑火石、新島ガラスなど)を使った校舎、バリアフリー、温水プールなど施設の充実。黒板はデジタル黒板。子どもが急激に可能性が低いので、1クラスを開放的な圧迫の無い教室。図書室を1番こだわった作りにして欲しい
- ・学園児童生徒全員が一度に集まって活動や集会などができる部屋。
- ・地域の方や、保育園の子など、島民がだれでも入って使えるスペース
- ・難しいかもしれませんが、東京で当たり前の学童があると喜ばれるのではないかと思います。
- ・保小中の子供たちが、縦割りで活動できるスペース・放課後教室(学童)・地域との交流がより盛んになるスペース(式根島の歴史的な物を保管出来る書庫や未就園児も気軽に来訪できる)・生徒児童数の増減に対応できる教室・給食センターと一体化したランチスペース・開放感とセキュリティの両立・星空教室が開ける安全な屋上・悪天候時に利用可能な新島高校の分室的なスペース・学校外(村内、国内、海外)とのネットを利用した交流スペース
- ・学年を超えて皆で集える教室

- ・島民も利用できる学校図書館
- ・保育園や未就園児、地域の方と触れ合える教室。
- ・相談室など個別の対応ができる部屋が2つ以上あるといい。
- ・図書室を地域の共有図書館に。テーブル、いすなどのある交流ラウンジを。学校関係者だけでなく、地域の方とも交流できる空間。
- ・ランチルーム
- ・キャンプなどが出来る交流スペース
- ・工具が沢山あり、式根島の自然を使った創作か自由に作れる教室。授業に参加できない子の居場所としても使える。ボランティアが常駐して島の人も観光客もクラフトしたり居て
- ・ふれあい教室。小中の子供が、分け隔てなく交流できるスペースまたは教室。
- ・視聴覚室のようなフリースペース。こどもくらぶが企画しているような、放課後活動などで利用できるようなスペースがあったらいいです。
- ・少子化の中、不登校などの悩みや学習の足並みが難しい子は増えているように思います。その子たちが行きやすい空間作り、先生と関わる空間作りが必要かと思います。
- ・全員で給食が食べれるカフェテラスっぽいお部屋
- ・異学年が同じ空間の中でそれぞれが学びたいことを学べる教室
- ・島民に対して図書室の開放 屋外トイレの開放 プール開放
- ・保育園児から高齢者等との交流ができるような多目的室ができると地域コミュニティの形成ができると思う
- ・校舎が一つになっても、発達段階を理解しないと、校種の垣根を越えた一体感は望めないと思います。
- ・相談室、ランチルーム
- ・年齢の垣根を越えて、物を作り作品を飾ることができるプレイルーム
- ・体育館、プールまで雨に安全に速やかに移動できる校舎、世界でも注目され島外からも子供が集まるような魅力ある校舎、学校
- ・一体型校舎になっていないので、一貫校にしたメリットがわからないし式根島だけでしか通用しないので意味がない。一貫校になって何がか変わったのかがわからない。今はただ、学校側、教員、PTAの人達の都合のいい言い訳にしか使われてない気がする。
- ・中庭など、皆が自然と集まる空間
- ・不登校の経験のある子供にとっては、狭い地域での活動は回復にむけて大変むずかしいものがあり、1人でも真剣にむきあってくれる教師がいたら、本人も家族もすぐわれると思う。幸い私には大変真剣に寄り添ってくれる教師がいます。
- ・防災拠点となるので、学校としての校舎はもちろんですが災害時に使える校舎にしてほしい。